



令和7年度連隊小火器射撃競技会

第6即応機動連隊



日々の訓練成果を遺憾なく発揮 飽くなき練度向上を目指す



▲背のうを活用した射撃



▲指定された部位に射撃



▲射距離に応じて姿勢を決定

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は、4月20日から24日までの間、美幌射撃場において令和7年度小火器射撃競技会を実施した。

動連隊の全6個中隊が参加し、小銃の戦闘射撃能力を向上させるとともに、中隊の団結を強化する目的で実施し、各中隊は競技会までに射撃予習・実射訓練を重ね、中

隊の威信をかけて競技会に臨んだ。18日、競技会に先立ち美幌駐屯地体育館において開会式が実施され、選手を代表して第3普通科中隊の福井颯真士長は選

手宣誓で「我々選手一同は、日々の訓練成果を遺憾なく発揮するとともに、優勝という目標に勇往邁進し、第6即応機動連隊の隊員として恥じぬ成果を残すことを誓います」と力強く述べた。

競技は、目標までの前進間、遂次に付与される目標に対し、各人で目標までの距離を判断して射撃を行い、命中部位ごと異なる点数を獲得する

要領で得点を競った。競技に参加した各中隊の選手は、僅かな弾着のずれが点数に大きく影響するという緊張感に包まれながら勝利を追求して最後まで射撃を実施し、練成成果を十分に発揮して競技会は終了した。

競技結果は「中隊対抗の部」で第2普通科中隊が栄えある「優勝」を勝ち取った。また、「個人総合の部」で本部管理中隊の小林浩之曹長が第1位に輝いた。

第6即応機動連隊は、今後も部隊の射撃能力の飽くなき向上を目指し、練成を継続していく。



▲中隊対抗の部で第2普通科中隊が優勝



▲負傷隊員を迅速に処置



▲負傷者の状況にあわせて搬送



▲担架班による後送



▲衛生隊員に申し送り

第6即応機動連隊衛生小隊長(大久保和希3等陸尉)は、3月17日から4月4日までの間、美幌駐屯地及び同訓練場において、令和6年度第3回補助担架要員養成集合教育及び練成集合訓練を実施した。

本教育は連隊の隊員に対し、補助担架員に必要な処置を演練するとともに、

な知識及び技能を修得させるとともに、資格保有者に対して第一線救護能力の向上に資することを目的に実施した。

本教育ではあらゆる場面での負傷者の処置及び観察を重視し、救命ドクトリン(原理・原則)の時間概念を踏まえた迅速な処置を演練するとともに、

第一線での救護能力を向上 第3回補助担架要員養成集合教育 第6即応機動連隊

に、傷病者輸送における「あらゆる手段を用いた迅速な後送」を追求した。担架班による迅速な状況判断及び火力と連携した後送を実施した。

第6即応機動連隊最前上級曹長(松本浩紀准尉)は、3月31日から4月1日までの間、曹士が曹士を育成するという方針のもと、3月に定期異動した転入者に対し、必要な戦闘射撃能力を付与する目的で令和7年度第1回転入者戦闘射撃集合訓練を実施した。



▲動作を区切って演練

転入者を直ちに戦力化 転入者戦闘射撃集合訓練 第6即応機動連隊

訓練は基礎的なガンハンドリングから始め、指導部は各人の練度を的確に把握すると操作のコツ等を展示した。

本訓練を通じて、転入者の早期戦力化及び任務達成能力の向上に資するとともに所在隊員相互の融和団結も図ることができた。



美幌駐屯地ホームページで最新ニュースをチェック！！

最新情報をお届け！
美幌駐屯地HP

令和7年度自衛官候補生教育隊 「防護マスクの装脱面訓練」 「10 km 徒步行進訓練」 第6即応機動連隊

見えぬ敵から身を守れ！
防護マスク装脱面訓練



▲防護マスクの効果を確認

第6即応機動連隊自衛官候補生教育隊(教育隊長・松本浩紀准陸尉)は、4月14日、美幌駐屯地において、自衛官候補生に対し、防護マスクの装脱面訓練を実施した。本訓練は、自衛官候補生にとって初めての特殊武器防護訓練となり、防護マスクの装脱要領を修得及び防護能力を体験させることを目的に行われ

た。当初、教場において防護マスクの基礎教育及び装脱面要領を演練した後、野外訓練場へ移動し、催涙線香の煙が充満するガス天幕に1コ班ずつ防護マスクを装着したまま入った。防護マスクの効果を確認した後、自衛官候補生は一斉に脱面して催涙線香の煙を浴び、喉や目な

どの痛みや発汗・鼻汁の分泌等の催涙効果を体験した。

その後、ガス天幕から出て、顔や手を水で洗い流しながら防護マスクや身体に付着した催涙線香の煙の除去を行った。

自衛官候補生は、「防護マスクの効果がかつた」と感想を述べた。

本訓練を通じて防護マスクの防護能力と有効性を体験し、装脱面動作を修得させることができた。



▲水で煙を流す



▲催涙線香を体験

踏破のための足慣らし 10 km 徒步行進訓練

4月18日、美幌駐屯地及び同訓練場において、10 km 徒步行進訓練を実施した。

本訓練は、徒步行進に必要な服装、背のうの装着要領、行進隊形の保持、行進規律の徹底、隊員の基礎動作等を修得させることを目的として実施するものであり、6月に行われる25 km 行進を見据えた足慣らしを兼ねている。

本訓練の実施にあたり、事前に座学を実施して行進に必要な基礎的知識を付与するとともに、隊容検査により背のうの内容品を点検し物心両面での準備を万全にした。

訓練当日の午前8時、晴天の中、自衛官候補生は準備を整えると、班長からの命令により訓練場入口から行進を開始した。

行進間、自衛官候補生は、行進隊形、背のう等の装着要領に留意するとともに、休止間においては結節時における分散要領の演練及び水分補給を実施した。

徒步行進の時間の経過とともに、足の痛みや背のうの重みで苦しい表情を見せる自衛官候補生もいたが、同期で励まし合いながら無事に完歩し、最後は隊舎まで元気に駆け足で帰隊した。



▲班長から行進前の命令下達



▲行進訓練開始



▲駆け足で隊舎へ帰隊

本訓練を通じて、自衛官候補生は徒步行進に必要な準備と知識を修得し、6月に実施される25 km 徒步行進訓練に向けて基礎を確立した。



美幌駐屯地曹友会

「愛される駐屯地」のキャッチフレーズの下、様々な企画を計画していく

交通事故・交通違反の根絶へ!!
春季曹友交通安全キャンペーン

美幌駐屯地曹友会(会長・田中幹典曹長)は第121地区警務隊(隊長・二上深2尉)及び業務隊輸送班(班長・酒巻政樹2尉)とともに4月10日、駐屯地警衛所前において春季曹友交通安全キャンペーンを実施した。

本事業の実施に先立ち、業務隊輸送班長は雪解けに合わせて、交通安全旗及び看板を駐屯地内に掲げ、各所にポスターを掲示して隊員等の交通安全に対する意識を高めた。

かけをするとともに、警務隊は「STOP 飲酒運転」等と記載されたカード入りポケットティッシュを配りながら一人ひとりに啓発活動を実施し、駐屯地隊員等に対し交通安全意識の高揚を図った。

今後も曹友会が中心となり、駐屯地所在部隊が相互に連携して本事業を定期的実施し交通事故根絶を推進していく。

駐屯地周辺道路を美化せよ!! 曹友会清掃ボランティア活動

美幌駐屯地曹友会は、4月17日、美幌駐屯地周辺の道路沿いにおいて、清掃ボランティア活動を実施した。

約1時間の活動を行い、約18袋のゴミを回収して美幌駐屯地周辺の道路沿いは見違えるようきれいになった。

参加した隊員からは「美化活動によって、きれいな町を維持しようという気持ちが一人でも多くの人に広がってほしい」と感想を述べた。

本ボランティア活動は、駐屯地周辺の道路沿いの雪解け後に露わになったゴミ等を回収し、会員の福祉活動意欲の向上及び道路を利用する地域住民の駐屯地への理解の深化を図る目的で実施した。

曹友会長の呼びかけで集まったボランティアの参加者は、午前7時から曹友会長の全般説明の後、事故防止のため反射タスキ等を装着し、美幌駐屯地周辺の道路沿いの歩道や土手、排水溝に落ちているゴミを回収した。

美幌駐屯地曹友会は、「愛される駐屯地」のキャッチフレーズの下、様々な企画を計画していく。



▲次々にゴミを回収



▲のぼりを持った曹友会員とティッシュを配る警務隊員

より親しみやすく笑顔が集まる場所へ 厚生センター内フリースペース充実化

美幌駐屯地

美幌駐屯地業務隊(隊長・生稲学2佐)は、厚生センター内フリースペースの充実化を実施した。

これまで駐屯地業務隊は駐屯地内の生活・勤務環境の改善・魅力化推進のため、照明のLED化、エアコンの設置等を実施してきた。

今回の改修は駐屯地司令の「隊員の自慢となるような施設にしていきたい」という指導のもと、掘ごたつ付きの小上がり及びカウンターテー

ブルの設置、床・壁紙の張り替え、照明のLED化、ソファ、テーブル、テレビ等の設備の入れ替え等を実施した。

まるで新築のような内装で便利で快適になった厚生センターは、工事終了後の4月1日にリニューアル式を実施して

駐屯地司令(中津健士1佐)、業務隊長、有有限会社マリン北海道代表取締役の下山大輔様によるテープカットが行われ、その後、オープンを待

ちかねた隊員たちが次々に訪れて大きなテレビを見ながら新品のソファで休憩したり、快適な掘ごたつで売店で購入したものを飲食しながらくつろいだりなどして「昼休みは毎回ここで休憩します!」等の喜ぶ声が多くあつた。

美幌駐屯地業務隊は今後も隊員の気持ちに寄り添い、積極的に要望に耳を傾け、生活勤務環境の改善を継続して実施し、快適に勤務出来る環境を目指していく。

美幌駐屯地業務隊は今回、業務隊長、有有限会社マリン北海道代表取締役の下山大輔様によるテープカットが行われ、その後、オープンを待



▲快適な掘ごたつ

6月 退官者紹介

6 即機本管中隊
陸曹長 松尾 雅浩
(6月9日付)



業務隊長
准陸尉 梅田 信政
(6月11日付)



6 即機本管中隊
陸曹長 坂田谷 英樹
(6月18日付)



6 即機本管中隊
陸曹長 中島 広明
(6月29日付)

